SONY®

4-264-053-**02**(1)

ポータブル ブルーレイディスク™ / DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Blu-ray Disc™

BDP-SX1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
6ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプターや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと 火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンを使用したり、ディスクを再生したり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。

交通事故の原因となります。また、運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

禁止

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目に当たると危険です。

分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

本機や AC アダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機や AC アダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

付属以外の AC アダプターやカーアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。

禁止

本体や AC アダプター、カーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機を廃棄する場合は、一般ごみに混ぜて捨てない

本機はリチウムイオン電池を内蔵していますので、ゴミ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、漏液、発熱、発火、破裂などの危険があります。

禁止

不要になった場合は、ソニーサービス窓口にご相談のうえ、リサイクルにご協力ください。廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってください。

➡ 次のページにつづく

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中、本体や AC アダプター、カーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

禁止

液晶画面を長時間つづけて見ない

液晶画面を長時間続けて見ると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。

禁止

➡ 万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

禁止

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に置く

液晶画面の開閉時やディスクぶたを閉じるときなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

回転しているディスクにはさわらない

ディスクぶたを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明

を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

内蔵バッテリーやリモコン用電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

指示

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

リモコン用電池は充電しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

火の中に入れない、加熱・分解・改造しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠警告

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

リモコン用電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

⚠注意

指定以外のリモコン用電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

使い切ったときや、長期間使用しないときは、リモコン用電池を取りはずす

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコン用電池は＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

指示

使用上のご注意

> ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常なにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
> 通常、本体の電源スイッチで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- ほこりや、たばこの煙が多い場所では使用しないでください。ほこりや、たばこのヤニが本体内部の部品（レンズなど）に付いて、故障の原因となります。
- ディスクぶたを開けたときに、ディスクがまだ回転しているときは、ディスクの回転が停止してから、ディスクを取り出してください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  - 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 本棚のような狭い所。
  - 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
  - ホコリの多い所。
  - ぐらついた台の上や傾いた所。
  - 振動の多い所。
  - 風呂場など、湿気の多い所。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、本機の液晶画面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、液晶画面をティッシュペーパー等でよく拭き、結露がなくなるまで、そのまま約30分（本機が室温に温まるまで）放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面やテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

液晶画面について

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶画面に物を載せたり、落としたりしないでください。また手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶画面の表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

内蔵バッテリーについて

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間の経過によってバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が通常の半分くらいになったときは、寿命と思われます。ソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。
- 本機を長期間使わない場合、電池の劣化を防ぐため、半年から1年ごとに充電するようにしてください。

ACアダプターやカーアダプターについて

- 付属以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
- アダプターを分解または改造しないでください。
- アダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物で触れるとショートしてアダプターが損傷することがあります。

本機を海外へお持ちになるときは

付属のACアダプターは100 ～ 240Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあったACプラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます。
なお、電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本体のお手入れについて

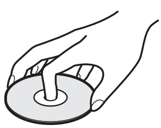
- キャビネットの汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- 液晶画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。濡れたもので液晶画面を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 画像が乱れたり、音飛びがするときは、レンズにゴミやほこりがたまっている場合があります。このときは、市販のカメラレンズ用のブロワーブラシで、レンズのクリーニングをしてください。クリーニングをするときは、レンズに直接触れないようご注意ください。

クリーニングディスクについて

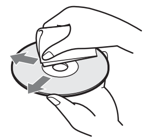
レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱いについて

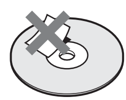
- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所、直射日光が当たって高温になった車内には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



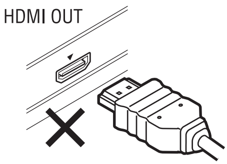
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷が乾いてからお使いください。
- 次のようなディスクは使用できません。
  – 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  – 紙やシールの貼られたディスク
  – セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク



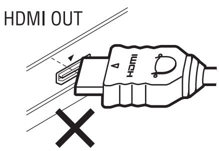
HDMI OUT（出力）端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI OUT（出力）端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体右側面の HDMI OUT（出力）端子とコネクターの形や向きに注意してください。

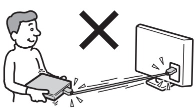


コネクターが逆さになっている



曲がっている

- 本機を移動させるときは、必ず HDMI ケーブルを抜いてください。



- HDMI ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI OUT（出力）端子に強く押しこんだりしないでください。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

目次

準備

再生

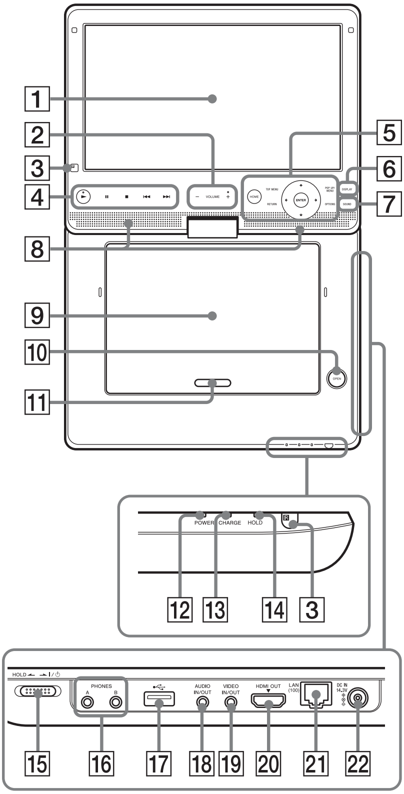
設定

その他

各部の名前

利用できる機能は、ディスクや使用状況によって異なります。

本体



ちょっと一言

VOLUME（音量）＋ボタンと ►（再生）ボタンには凸（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

[1] **液晶画面**

[2] **VOLUME（音量）＋ / －**
音量を調節します。

[3] **リモコン受光部**

[4] **►（再生）**
再生します。

❚❚（一時停止）
一時停止または再生を再開します。

■（停止）
再生を停止すると同時に、停止した位置を記憶します（つづき再生）。
再開する位置は、映像／音楽では最後に停止した位置、写真では最後に再生した写真ファイルになります。

⏮/⏭（前／次）
前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。
本体の ⏮/⏭ ボタンを押し続けると、早戻し再生または早送り再生します。

[5] **HOME（ホーム）**
ホームメニューを表示します。
ホームメニューのカテゴリーアイコン上で押すと、壁紙を表示します。

TOP MENU（トップメニュー）
BD や DVD のトップメニューを表示または閉じます。

POP UP/MENU（ポップアップ／メニュー）
BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示または閉じます。

OPTIONS（オプション）（**20 ページ****）**
表示画面で使用できるオプション機能を画面に表示または閉じます。

RETURN（戻る）
ひとつ前の画面に戻ります。

←/↑/↓/→
上下左右に動かして項目を選びます。

ENTER（決定）
選んだ項目を決定します。

6 DISPLAY（ディスプレイ）（19 ページ）
再生情報を画面に表示します。

7 SOUND（サウンド）
押すたびに以下の 4 種類のサウンドモードに切り換わります。
本体スピーカーおよびヘッドホンから出力する音声に効果があります。
- スタンダード：標準的な音の設定です。
- ダイナミック：迫力のある音になります。
- ダイナミックサラウンド：広がり感のある音になります。
- クリアボイス：台詞などが聞きやすくなります。

8 スピーカー

9 ディスクぶた

10 OPEN（開く）ボタン
ディスクぶたが開きます。

11 PUSH CLOSE
ディスクぶたを閉じます。

12 POWER（電源）ランプ
電源を入れると点灯します。

13 CHARGE（充電）ランプ
充電中に点灯します。
バッテリーが消耗すると点滅します。

14 HOLD（ホールド）ランプ
I/⏻/HOLD（電源／ホールド）スイッチが HOLD（ホールド）方向に設定されているときに点灯します。

15 I/⏻/HOLD（電源／ホールド）スイッチ
- 本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。
- HOLD（ホールド）の方向へ設定すると、本体のボタン操作を無効にできます。リモコンでの操作はできます。

16 PHONES（ヘッドホン）端子 A、B

17 ⭠（USB）端子
USB 機器をつなぎます。

18 AUDIO IN/OUT（音声入出力）端子

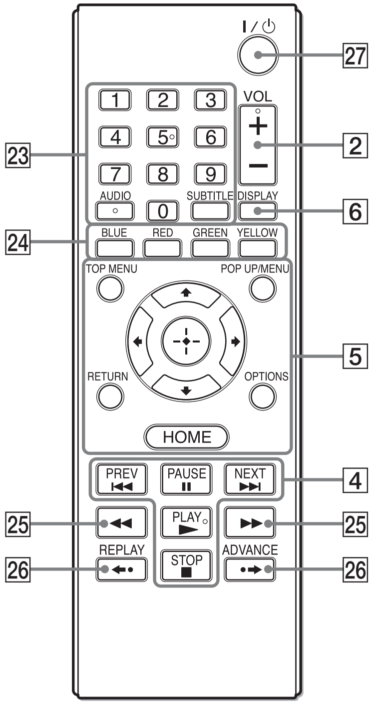
19 VIDEO IN/OUT（映像入出力）端子

20 HDMI OUT（出力）端子

21 LAN（100）端子

22 DC IN 14.3V（入力）端子
AC アダプターやカーアダプターをつなぎます。

リモコン



ちょっと一言

数字ボタン「5」、AUDIO（音声）ボタン、VOLUME（音量）＋ボタン、および ►（再生）ボタンには凸（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

23 数字ボタン（0 ～ 9）

タイトル／チャプター番号などを入力します。

AUDIO（音声）（25 ページ）

視聴している BD-ROM や DVD ビデオにセリフが複数の言語で録音されている場合、言語を選べます。

CD では音声トラックを選べます。

SUBTITLE（字幕）（25 ページ）

視聴している BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

24 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

各種メニューへショートカットできます。

25 ◄◄/►►（早戻し／早送り）

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に 1 秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

26 ←•/•→（10 秒戻し／ 15 秒送り）

10 秒前に戻る、または 15 秒先に進みます。

27 I/⏻（電源）

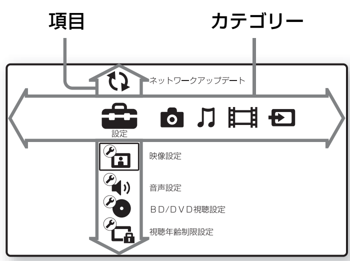
本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

ホームメニュー画面

HOME（ホーム）ボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。

←/→ でカテゴリーを選んでください。

↑/↓ で項目を選び、ENTER（決定）ボタンを押してください。



（設定）：本機の設定を変更します。

（フォト）：写真を再生します。

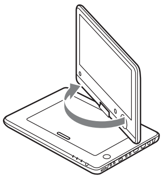
（ミュージック）：音楽を再生します。

（ビデオ）：映像を再生します。

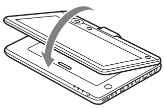
（外部入力）：他の機器からの映像および音楽を再生します。

液晶画面を回転して折り重ねる

液晶画面を垂直の位置になるまで開き、ゆっくりと時計回りに 180 度回転させます。



液晶画面を時計回りに 180 度回転させた後で、本体の上に液晶画面を押し倒します。その位置で液晶画面は上向きになります。



液晶画面を元の位置に戻すには

液晶画面を垂直の位置まで開き、ゆっくりと反時計回りに回転させます。

ご注意

- 使用後は、液晶画面を元の位置に戻してください。突然の衝撃などによって液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を閉じている状態や倒した状態で、回転させないでください。本体が傷つく場合があります。

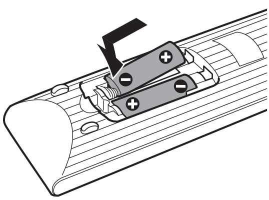
付属品を確認する

次の付属品がそろっているか確認してください。

- 電源コード（1 本）
- AC アダプター（1 個）
- カーアダプター（1 個）
- 映像／音声ケーブル（ミニプラグ ×2 → ピンプラグ ×3）（1 本）
- リモコン（1 個）
- 単 3 形（R6）乾電池（2 個）
- 保証書（1 部）

リモコンを準備する

リモコンに単 3 形（R6）乾電池を 2 個入れます。⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に合わせてください。

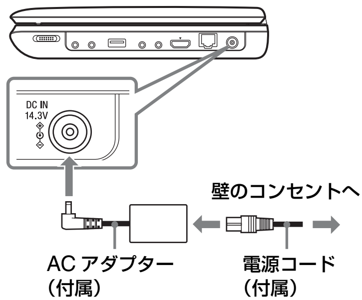


充電する

本機をはじめて使用するときや、バッテリーが消耗したときには、充電してください。

AC アダプターを本機につなぐ。

充電が始まると、CHARGE（充電）ランプがオレンジ色に点灯します。



充電が終わると、CHARGE（充電）ランプが消灯します。
AC アダプターを取りはずしてください。

ちょっと一言

電源が入っていても充電はできますが、充電時間が長くかかります。充電だけをしたい場合は、電源を切って充電することをおすすめします。

ご注意

- 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。
- 充電は周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の環境で行ってください。

充電時間と再生時間

充電時間：約 6 時間
再生時間：約 5 時間

以下の条件での最長連続再生時間の目安です。

- 充電時間
  - 常温（20 ℃）
  - 電源オフ
- 再生時間
  - 常温（20 ℃）
  - ヘッドホン使用
  - バックライトの調整を最小に設定

周囲の温度やバッテリーの状態により、充電時間が長くなったり、使用時間が短くなることがあります。

バッテリーの残量を確認するには

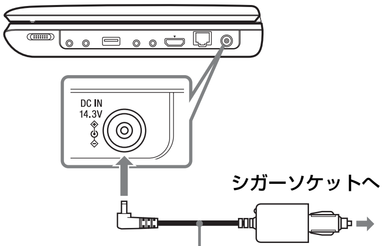
AC アダプターを取りはずしてください。さらに、再生中は DISPLAY（ディスプレイ）を押してください。
バッテリーマークが表示されます。
バッテリーが消耗すると、「▭」が表示されるか、CHARGE（充電）ランプが点滅します。



カーアダプターを使う

付属のカーアダプターは、12 V マイナスアース車専用です（24 V およびプラスアース車では使えません）。

カーアダプターをつなぐ。



車内での使用後は

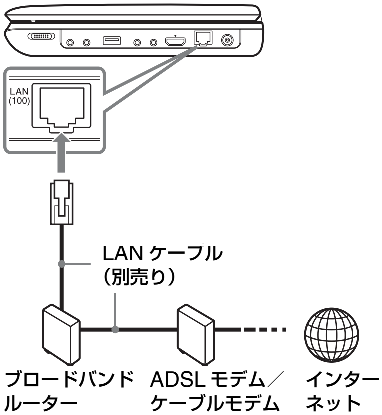
シガーソケットからカーアダプターを抜いてください。

ご注意

- 運転者は、運転中にカーアダプターをつないだり抜いたりしないでください。
- 運転者の邪魔にならないようにコードを配置してください。また運転者から見える位置に液晶画面を設置しないでください。
- シガーソケットは清掃してから使用してください。汚れていると、接続不良や故障の原因となる場合があります。
- カーアダプターをつないで本機を使用する場合は、自動車のエンジンをかけた状態で使用してください。自動車のエンジンを止めた状態で使用すると、自動車のバッテリーが放電してしまう場合があります。
- 自動車内に本機や付属品を置いたままにしないでください。

ネットワークにつなぐ

LAN ケーブルを LAN（100）端子につなぎ、本機をインターネットにつなぎます。
BD-LIVE を楽しんだり、ネットワークアップデートを行ったりできます。



ネットワークの設定をするには

［通信設定］の［ネットワーク設定］で［有線 LAN 設定］を選び（27 ページ）、画面の指示にしたがって設定してください。

その他の機器につなぐ

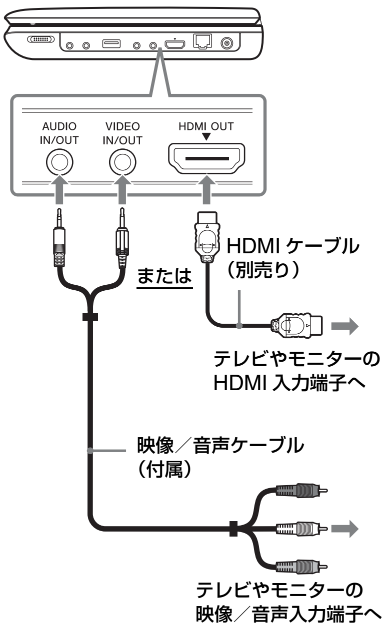
本機をテレビやその他の機器につないで、さらに映像を楽しめます。

ご注意

- 他の機器とつないだときは、サウンドモードは切り換わりません。
- つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を切ってから、つないでください。

テレビで映像を楽しむ

1 **本機とテレビやモニターを映像／音声ケーブルまたは HDMI ケーブルを使ってつなぐ。**



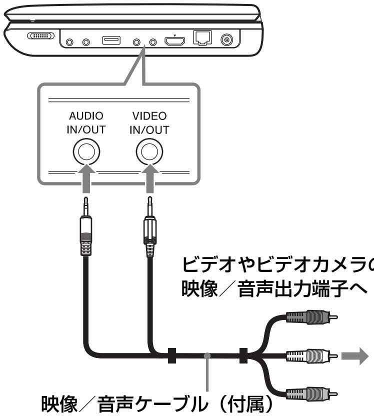
2 **本機の電源を入れる。**
HDMI 接続のときは、[映像設定] の [HDMI/LCD 映像解像度] の設定が正しいか確認してください (23 ページ)。

ちょっと一言
- 同じつなぎかたで AV アンプにつなぐこともできます。
- HDMI ケーブルでつなぐと、高品質デジタル映像と音声を楽しめます。

ご注意
- 本機はテレビに直接つないでください。本機からビデオデッキなどを経由してテレビに信号を出力すると、著作権保護システムの影響により、映像が乱れる場合があります。
- HDMI ケーブルでつなぐと、本体のスピーカーおよびヘッドホンからは音声が出力されません。

他の機器からの映像を楽しむ

1 **本機とビデオやビデオカメラを映像／音声ケーブルを使ってつなぐ。**



2 **本機の電源を入れる。**

3 **←/→ を押してホームメニューの （外部入力）を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**

ホームメニューに戻るには
HOME（ホーム）ボタンを押してください。

準備

ディスクを再生する

再生できるディスクについては、「再生できるディスク」（32 ページ）をご覧ください。

1 **液晶画面を開き、電源を入れる。**

2 **OPEN（開く）ボタンを押してディスクぶたを開き、ディスクをはめ込む。**
再生したい面を下にして、カチッと音がするまではめ込みます。レンズ部には触れないよう、ご注意ください。



3 **ディスクぶたを閉じる。**
再生が始まります。
再生が自動的に始まらない場合は、（ビデオ）、（ミュージック）、または（フォト）でを選び、ENTER（決定）ボタンを押してください。

ちょっと一言

早送り再生やスロー再生もできます（10、12 ページ）。

BONUSVIEW（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむ

BD-LIVE ロゴ * が記載された BD-ROM には、スペシャルコンテンツ（BONUSVIEW）や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ（BD-LIVE）などが用意されているものがあります。

* BD LIVE™

1 **USB メモリーを USB 端子に差し込む（11 ページ）。**
容量 1GB 以上の USB メモリーをローカルストレージとして使用してください。

2 **BD-LIVE の準備をする（BD-LIVE のみ）。**
- 本機をネットワークにつないでください（16 ページ）。
- ［BD インターネット接続］を［許可する］に設定してください（25 ページ）。

3 **BONUSVIEW（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）対応の BD-ROM を入れる。**
操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

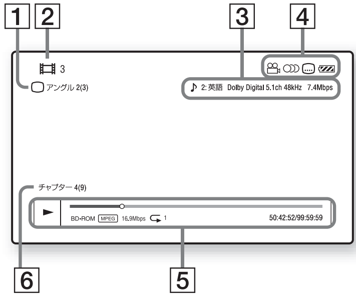
ちょっと一言

USB メモリー内のデータを消去するには、（ビデオ）で［BD データ消去］を選び、ENTER（決定）ボタンを押してください。buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

再生情報を表示する

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、再生情報などを確認できます。
ディスクの種類や本機の状態によって、表示される情報は異なります。

例：BD-ROM の場合



1 画面アングル

2 タイトル番号またはタイトル名

3 音声設定

4 使用可能な機能（アングル／音声／字幕／バッテリー残量）

5 再生モード／再生位置表示バー／ディスクの種類／ビデオコーデック／ビットレート／リピート設定の種類／経過時間／総時間

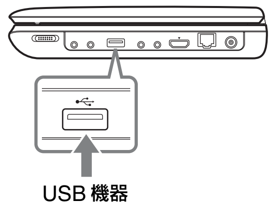
6 チャプター番号

USB 機器を再生する

USB 機器内のビデオ、音楽、写真を再生できます。
再生できる USB 機器については、「再生できるファイルの種類」（33 ページ）をご覧ください。

1 USB 機器を USB 端子につなぐ。

つなぐ前に USB 機器の取扱説明書をご覧ください。



2 ←/→ を押して、ホームメニューの（ビデオ）、（ミュージック）、または（フォト）を選ぶ。

3 ↑/↓ を押して（USB 機器）を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

さまざまなオプション

OPTIONS（オプション）ボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

共通オプション

項目	できること
画面モード（本機の液晶画面）	• 画面サイズ：画面のサイズを変更します。［ノーマル］、［フル］、または［ズーム］を選びます。 • バックライト：画面の明るさを調整します。 • コントラスト：画面の明暗を調整します。 • 色あい：画面の赤と緑のバランスを調整します。 • 色の濃さ：画面の色の濃さを調整します。 • 初期値：各設定値を工場出荷時の値に戻します。
リピート設定	リピートモードを設定します。
再生／再生停止	再生を開始または停止します。
始めから再生	タイトルを始めから再生します。

（ビデオ）のみ

項目	できること
画音同期調整	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます（0 ～ 120 ミリ秒）。
再生一時停止	再生を一時停止します。
トップメニュー	BD や DVD のトップメニューを表示します。
メニュー／ポップアップ	BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示します。
タイトルサーチ	BD-ROM や DVD ビデオのタイトルを検索し、先頭から再生します。
チャプターサーチ	チャプターを検索し、先頭から再生します。
映像切換	BD-ROM や DVD ビデオに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り換えます。
音声言語	視聴している BD-ROM や DVD ビデオにセリフが複数の言語で録音されている場合、言語を切り換えます。
字幕言語	視聴している BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を切り換えます。

（ミュージック）のみ

項目	できること
スライドショーの BGM 登録	USB メモリー内の音楽ファイルを、スライドショーの BGM に登録します。

（フォト）のみ

項目	できること
スライドショーの速さ	スライドショーの速さを設定します。
スライドショーの効果	スライドショーの表示方法を設定します。
スライドショーのBGM	• 切：BGM を設定しません。 • My Music（USB）：［スライドショーのBGM 登録］で登録した音楽ファイルを BGM に設定します。音楽ファイルが登録されていない場合、［(未登録)］と表示されます。 • 音楽 C D から再生：CD-DA のトラックを BGM に設定します。
スライドショー	スライドショーを再生します。
回転（左）	写真を左回りに 90 度回転させます。
回転（右）	写真を右回りに 90 度回転させます。

本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホームメニューの（設定）を選んでください。
お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

1 ←/→を押して、ホームメニューの（設定）を選ぶ。

2 ↑/↓を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

アイコン	説明
	ネットワークアップデート（22 ページ） 本機のソフトウェアをアップデートします。
	映像設定（23 ページ） 映像に関する設定をします。
	音声設定（24 ページ） 音声に関する設定をします。
	BD/DVD 視聴設定（25 ページ） BD や DVD を視聴するときの詳細設定をします。
	視聴年齢制限設定（26 ページ） 視聴制限の詳細設定をします。
	本体設定（26 ページ） 本体全般の設定をします。
	通信設定（27 ページ） ネットワークなど通信の詳細設定をします。
	設定初期化（27 ページ） お買い上げ時の状態に戻します。

ネットワークアップデート

ネットワークアップデートを行うときは、AC アダプターをつないでください。
［はい］を選んでネットワークに接続し、本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。

ちょっと一言

- 2 か月に 1 回程度を目安にネットワークアップデートを行うことをおすすめします。
- アップデートの情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/portable-player/

ご注意

- ネットワークアップデートが完了するまで、AC アダプターを取りはずさないでください。
- ネットワークアップデートを始める前に、バッテリーが充電されているか確認してください。

映像設定

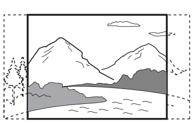
テレビタイプ

16：9	ワイドテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。
4：3	画面サイズが 4：3 でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

画面モード

オリジナル	ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも 4：3 映像を常に 16：9 で表示します。
横縦比固定	映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

DVD ワイド映像表示

レターボックス	ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
パンスキャン	ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

シネマ変換モード

自動	通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り換えます。
ビデオ	記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

HDMI/LCD 映像解像度

通常は［自動］を選んでください。ディスクに記録された解像度で出力するときは、［オリジナル解像度］を選んでください。解像度が SD 解像度より低い場合、SD 解像度にして出力されます。

ちょっと一言

解像度の設定を変えたあとで、つないだテレビの画面に何も表示されなくなった場合は、変える前の設定に戻してください。

BD/DVD-ROM 1080/24p 出力

自動	1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、HDMI OUT（出力）端子から 1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。
切	お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

ご注意

HDMI OUT（出力）端子から 24p の映像信号が出力されているときは、液晶画面に何も表示されません。

HDMI 映像出力フォーマット

自動	お使いのテレビの種類に応じて、自動で映像信号の色空間を設定します。
YCbCr (4:2:2)	YCbCr 4:2:2 の映像信号を出力します。
YCbCr (4:4:4)	YCbCr 4:4:4 の映像信号を出力します。
RGB	RGB の映像信号を出力します。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にしてください。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

HDMI 音声出力

自動	通常はこの設定にしてください。本機につないだ HDMI 機器の状態に応じて、最適な音声信号を出力します。
PCM	HDMI OUT（出力）端子から PCM 信号を出力します。

BD 音声 MIX 設定

入	セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するとき、それらを混合して出力します。
切	プライマリーオーディオのみ出力します。HD 音声信号を AV アンプに出力したいとき、この設定を選んでください。

DTS Neo:6

シネマ	DTS Neo:6 のシネマモード処理を行います。つないだ機器の性能に応じて、2 チャンネルの音源を擬似マルチチャンネルにデコードし、HDMI OUT（出力）端子から出力します。
ミュージック	DTS Neo:6 のミュージックモード処理を行います。つないだ機器の性能に応じて、2 チャンネルの音源を擬似マルチチャンネルにデコードし、HDMI OUT（出力）端子から出力します。
切	音源のチャンネル数を維持したまま、HDMI OUT（出力）端子から出力します。

オーディオ DRC

自動	ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します（BD-ROM のみ）。他のディスクの場合、［入］と同じ音になります。
入	標準的な音になります。
切	迫力のある音になります。

ダウンミックス

サラウンド	サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）*1 または DTS Neo:6*2 対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。
ステレオ	サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）または DTS Neo:6 に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 DTSおよび記号はDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD、DTS-HD Master Audio、および DTS ロゴは DTS, Inc. の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,212,872; 7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS-HD, DTS-HD Master Audio, and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

BD/DVD 視聴設定

BD/DVD メニュー言語

BD-ROM/DVD ビデオメニューに表示する言語を設定します。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（35 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

音声言語

BD-ROM や DVD ビデオ再生時の音声の言語を設定します。
［オリジナル］を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（35 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

字幕言語

BD-ROM や DVD ビデオに記録されている字幕の言語を設定します。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（35 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

BD ハイブリッドディスク再生層

BD	BD 層を再生します。
DVD/CD	DVD 層または CD 層を再生します。

BD インターネット接続

許可する	通常はこの設定にしてください。
許可しない	インターネット接続を禁止します。

視聴年齢制限設定

暗証番号設定

視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限がある BD-ROM または DVD ビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、BD-ROM または DVD ビデオに、違う制限レベルを設定できます。

視聴年齢制限使用地域

BD-ROM または DVD ビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

BD 視聴年齢制限

BD-ROM には、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

DVD 視聴年齢制限

DVD ビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

本体設定

HDMI 機器制御

入	以下のブラビアリンクの機能が使えます。 –ワンタッチプレイ –電源オフ連動
切	HDMI 機器制御による相互制御ができません。

ちょっと一言

テレビやその他の機器の設定について詳しくは、テレビや機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI 機器制御 テレビ電源切連動

入	つないだテレビがスタンバイ状態になると、本機および HDMI 対応機器の電源も自動的に切れます（ブラビアリンク）。
切	電源は自動的に切れません。

自動電源オフ

入	［自動電源オフ］機能を有効にします。何も操作されないまま 30 分が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。
切	電源は自動的に切れません。

自動画面表示

入	タイトルが変わるときや、映像モードや音声信号が変わるときに画面上でその情報を自動的に表示します。
切	DISPLAY（ディスプレイ）ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

スクリーンセーバー

入	スクリーンセーバーを有効にします。ホームメニューなど再生映像以外の画面を表示しているとき、何も操作されないまま 10 分が経過すると、画面保護のためスクリーンセーバーを表示します。
切	スクリーンセーバーを表示しません。

ソフトウェアアップデート通知

入	ソフトウェアの更新情報をお知らせします（22 ページ）。
切	ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

本体情報

本機のソフトウェアのバージョンと、MAC アドレスを確認できます。

通信設定

ネットワーク設定

前もって本機をネットワークにつないでください。詳しくは、「ネットワークにつなぐ」（16 ページ）をご覧ください。

接続状態を確認する	現在のネットワークの状態を表示します。
有線 LAN 設定	ブロードバンドルーターに直接つなぐとき、この設定を選んでください。

ネットワーク接続診断

ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

故障かな？と思ったら

本機を使用しているときに以下のような症状が起きたら、修理に出す前にこの項を参考にして点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ AC アダプターがしっかり差し込まれているか確認してください（14 ページ）。

➡ バッテリーが充電されているか確認してください（14 ページ）。

➡ 以下の手順で再起動してください。
I/⏻/HOLD（電源／ホールド）スイッチを I/⏻（電源）方向にスライドし、そのまま 10 秒間押し続けてください。その後、もう一度電源を入れてください。

バッテリーが充電されない、充電に時間がかかる。

➡ 極端に寒い所や暑い所では、AC アダプターをつないでいても CHARGE（充電）ランプが点滅することがあります。周囲の温度を 5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。

➡ 電源を入れたまま充電すると充電に時間がかかります。電源を切ってから充電してください。

➡ 本機を 1 年以上使用していなかった場合、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 本機に映像／音声ケーブルがつないであると、液晶画面の映像は標準画質で表示されます。液晶画面で高画質のデジタル映像を楽しむには、映像／音声ケーブルを抜いてください。

➡ 市販の BD のデジタルコンテンツの中には、本機を映像／音声ケーブルでつないでいると液晶画面に表示できないものもあります。

➡ HDMI OUT（出力）端子から 24p の映像信号を出力しているときは、液晶画面に映像が出ません。［映像設定］の［BD/DVD-ROM 1080/24p 出力］を［切］に設定してください（23 ページ）。

液晶画面に黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えない。

➡ 液晶画面の性質上発生するものであり、故障ではありません。

音声

音が出ない。

➡ 次のときは、音は出ません。
– 一時停止中
– スロー再生中
– 早送り再生中または早戻し再生中

ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio などの HD 音声がビットストリームで出力されない。

➡ ［音声設定］の［BD 音声 MIX 設定］を［切］に設定してください（24 ページ）。

インタラクティブオーディオが出力されない。

➡ ［音声設定］の［BD音声MIX設定］を［入］に設定してください（24ページ）。

サウンドモードが切り換えられない。

➡ 本機のAUDIO IN/OUT（音声入力／出力）端子に映像／音声ケーブルがつないであると、サウンドモードは［スタンダード］に固定されます。本機でサウンドモードを楽しむときは、映像／音声ケーブルを抜いてください。

ディスク

ディスクを再生できない。

➡ ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。

➡ カチッと音がするまでディスクがはめ込まれているか確認してください（18ページ）。

➡ ディスクが裏返しに入っていないか確認してください。再生面を下にしてください。

➡ 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください（32ページ）。

➡ 他機で録画されたディスクを再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください。

➡ BDやDVDの地域番号（リージョンコード）が本機で再生できる番号か確認してください（33ページ）。

ディスクの回転が止まらない。

➡ ■（停止）ボタンを押しただけでは、ディスクの回転は止まりません。

➡ ディスクぶたを開けてからディスクの回転が完全に止まるまでに時間がかかります。

その他

再生までに時間がかかる。

➡ ディスクによっては、再生開始までに時間がかかります。

再生が最初から始まらない。

➡ OPTIONS（オプション）ボタンを押して、［始めから再生］を選んでください。

再生が前回停止した位置から始まらない。

➡ 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
- ディスクぶたを開けたとき
- USB機器を取りはずしたとき
- ほかのコンテンツを再生したとき
- 本機の電源を切ったとき
- ［設定］で本機の設定を変更したとき

➡ ディスクによっては、つづき再生できないものもあります。

操作ボタンが働かない。

➡ I/⏻/HOLD（電源／ホールド）スイッチがHOLD（ホールド）方向に設定されていないか確認してください。

➡ 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください（6ページ）。

➡ 以下の手順で再起動してください。
I/⏻/HOLD（電源／ホールド）スイッチをI/⏻（電源）方向にスライドし、そのまま10秒間押し続けてください。その後、もう一度電源を入れてください。

USB 機器

つながれた USB 機器が認識されない。

➡ USB機器が正しくUSB端子につながれているか確認してください。

➡ USB 機器またはケーブルの端子が傷んでいないか確認してください。

➡ USB 機器の電源が入っているか確認してください。

➡ USBハブを通してUSB機器をつないでいる場合、本機に直接 USB 機器をつないでみてください。

ネットワーク接続

本機がネットワークにつながらない。

➡ ネットワークの接続を確認し（16 ページ）、設定を確認してください（27 ページ）。

本機の電源を入れると、［ネットワーク上に新しいソフトウェアバージョンが見つかりました。「ネットワークアップデート」からアップデートを行ってください。］というメッセージが表示される。

➡ 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、「ネットワークアップデート」（22 ページ）をご覧ください。

接続

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。

➡ テレビを本機につないでいる入力（「ビデオ」など）に切り換えてください。

➡ HDMI 接続のときは、以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。

➡ 著作権保護機能に対応していないDVI機器と HDMI OUT（出力）端子をつないでいないか確認してください。

➡ HDMI 接続のときは、［映像設定］の［HDMI/LCD 映像解像度］の設定が正しいか確認してください（23 ページ）。

➡ BD-ROM を再生しているときは、［映像設定］の［BD/DVD-ROM 1080/24p 出力］の設定が正しいか確認してください（23 ページ）。

➡ 本機に映像／音声ケーブルがつながっていると、HDMI 接続したテレビでも標準画質の映像が表示されます。HDMI 接続したテレビで高画質のデジタル映像を楽しむには、映像／音声ケーブルを抜いてください。

音が出ない、正しく音が出ない。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。

➡ HDMI 接続のときは、以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。

➡ HDMI OUT（出力）端子に DVI 機器がつながれていないか確認してください。DVI 端子は音声信号を受け付けません。

➡ HDMI OUT（出力）端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の音声設定を確認してください（24 ページ）。

➡ HDMI 接続のときは、［音声設定］の［HDMI 音声出力］を［自動］に設定してください（24 ページ）。

➡ HDMIケーブルと映像／音声ケーブルを同時につないでいるときは、AUDIO IN/OUT（音声入力／出力）端子から音声信号が出力されません。映像／音声ケーブルでつないだ機器の音声を楽しむには、HDMI ケーブルを抜いてください。

➡ サウンドモードの切り換えは、本機のスピーカーおよびヘッドホン端子から出力される音声に対してのみ有効です。HDMI OUT（出力）端子および AUDIO IN/OUT（音声入力／出力）端子から出力される音声は［スタンダード］になります。

ブラビアリンク（HDMI 機器制御）

［HDMI 機器制御］機能が働かない（ブラビアリンク）。

➡ ［HDMI 機器制御］が［入］になっているか確認してください（26 ページ）。

➡ HDMI 接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。

➡ 停電があったときは、［HDMI 機器制御］を一度［切］にし、その後［入］に再設定してください（26 ページ）。

➡ 以下を確認し、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
  - 接続機器が［HDMI 機器制御］機能に対応している。
  - 接続機器の［HDMI 機器制御］機能の設定が正しい。

電源オフ連動が機能しない（ブラビアリンク）。

➡ ［HDMI 機器制御］または［HDMI 機器制御 テレビ電源切連動］が［入］に設定されているか確認してください（26 ページ）。

主な仕様

システム

形式：ブルーレイディスク /DVD プレーヤー

信号方式：JEITA 標準、NTSC カラー方式

入力／出力端子

VIDEO IN/OUT（**映像入力／出力**）**：**
ミニジャック

AUDIO IN/OUT（**音声入力／出力**）**：**
ステレオミニジャック

PHONES（**ヘッドホン**）A、B**：**
ステレオミニジャック

USB **端子：**
A タイプ（USB メモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用）

HDMI OUT（**出力**）**端子：**
19 ピン標準コネクター

LAN（100）**端子：**
100BASE-TX

液晶画面

パネルサイズ：26 cm ／ 10.1 インチ（対角）

駆動方式：TFT アクティブ・マトリックス

解像度：1024 × 600

電源・その他

電源：
DC 14.3 V 1.6 A（AC アダプター／カーアダプター）

消費電力：
15 W（ヘッドホン使用時および BD-ROM 再生時）

最大外形寸法：
259 × 204 × 40.2 mm
（幅×奥行き×高さ）最大突起含む

本体質量：
約 1.53 kg

許容動作温度：
5 ℃～ 35 ℃

許容動作湿度：
25% ～ 80%

AC アダプター：AC 100-240 V、50/60 Hz

カーアダプター：DC 12 V

付属品

「付属品を確認する」（14 ページ）をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

再生できるディスク

BD[*1]	BD-ROM BD-R[*2]/BD-RE[*2]
DVD[*3]	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW
CD[*3]	CD-DA（音楽 CD） CD-ROM CD-R/CD-RW

[*1] BD は新しい規格で日々進化を続けているため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。
音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

[*2] 本製品は Ver.2.1 の BD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2 および Ver.1.3 の BD-R（LTH を含む）に対応しています。
パソコンで記録した BD-R を本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

[*3] レコーダーやパソコンで記録した CD または DVD を本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理がされていることが必要です。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

再生できないディスク

- カートリッジ型 BD
- Blu-ray 3Dディスクまたは3Dの映像が記録された BD
- BDXL
- AVCREC 方式や HD Rec 規格で記録された DVD
- DVD-RAM
- HD DVD
- DVD オーディオ
- フォト CD
- CD EXTRA のデータ部分
- VCD ／スーパー VCD
- スーパーオーディオ CD の HD 層
- DualDisc の音楽専用面
- 本機の映像方式（NTSC）と異なる映像方式（PAL など）で記録されたディスク

ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc 及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク（CD）規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。

BD/DVD 再生時の操作について

BD/DVD 再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機は BD/DVD のソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

2 層 BD や 2 層 DVD の再生について

レイヤー（層）が切り換わるときに映像および音声が一瞬途切れることがあります。

リージョンコードについて（BD-ROM/DVD ビデオのみ）

著作権保護を目的に設けられた制度です。市販の BD-ROM および DVD ビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。

地域番号に「A」が含まれる BD-ROM は本機で再生可能です。

地域番号に「All」または「2」が含まれる DVD ビデオは本機で再生可能です。

再生できるファイルの種類

ビデオ

フォーマット	拡張子
MPEG-1 Video/PS[*1] MPEG-2 Video/PS、TS[*1]	「.mpg」、「.mpeg」、「.m2ts」、「.mts」
MPEG-4 AVC[*1]	「.mkv」、「.mp4」、「.m4v」、「.m2ts」、「.mts」
WMV9[*1]	「.wmv」、「.asf」
AVCHD	[*2]

ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III)	「.mp3」
AAC[*1*3]	「.m4a」
WMA9 Standard[*1*3]	「.wma」
LPCM	「.wav」

フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	「.jpg」、「.jpeg」

[*1] デジタル著作権管理（DRM）などで保護されたファイルは再生できません。
[*2] 本機はデジタルビデオカメラなどで記録された AVCHD 規格の映像を再生できます。AVCHD 規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイナライズ処理がされていることが必要です。
[*3] ロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。

➡ 次のページにつづく

ご注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録または編集したファイルは再生できないことがあります。
- 本機はBD/DVD/CDまたはUSB機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します。
  – 3 階層目までのフォルダー
  – 1つの階層にある500番目までのファイル
  ファイルやフォルダーの数は状況によって異なります。
- USB 機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機は、フラッシュメモリーなどのマスストレージクラス（MSC）機器、静止画像キャプチャデバイスクラス（SICD）機器を認識します。
- データの破損や消滅を防ぐために、USB メモリーや USB 機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。
- データ CD 上の高ビットレートのビデオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。データ DVD 上で再生することをおすすめします。

著作権／商標について

- 本機は、無許諾の BD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- AVCHDおよびAVCHDロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Java およびすべての Java 関連のマークは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “”、“xross media bar”および“XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- HDMI®、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Blu-ray Disc は商標です。
- Blu-ray Disc、DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD-R、DVD ビデオおよび CD のロゴは商標です。
- BD-LIVE（BD ライブ）と BD-LIVE ロゴ、BONUSVIEW（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”および“**ブラビアプレミアムフォト**”は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonの MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- この製品は Verance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。本製品には Microsoft の知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴ R、新丸ゴ R の各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは省略している場合があります。

言語コード一覧

詳しくは、「BD/DVD 視聴設定」（25 ページ）をご覧ください。
言語名表記は ISO639：1988（E/F）に準拠しています。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani; Dzongkha
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic; Kalaallisut
1299	Cambodian; Khmer
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian; Lao
1332	Lithuanian
1334	Latvian
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Malese; Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi; Panjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi; Rundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho; Sango
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese; Sinhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati; Swati
1514	Sesotho; Sotho southern
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana; Tswana
1535	Tonga; Tonga islands
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	**無指定**

地域コード一覧

詳しくは、「視聴年齢制限使用地域」（26 ページ）をご覧ください。

コード、地域

2044、Argentina
2047、Australia
2046、Austria
2057、Belgium
2070、Brazil
2090、Chile
2092、China
2093、Colombia
2115、Denmark
2165、Finland
2174、France
2109、Germany
2200、Greece
2219、Hong Kong
2248、India
2238、Indonesia
2239、Ireland
2254、Italy
2276、Japan
2304、Korea
2333、Luxembourg
2363、Malaysia
2362、Mexico
2376、Netherlands
2390、New Zealand
2379、Norway
2427、Pakistan
2424、Philippines
2428、Poland
2436、Portugal
2489、Russia
2501、Singapore
2149、Spain
2499、Sweden
2086、Switzerland
2543、Taiwan
2528、Thailand
2184、United Kingdom

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 型名：BDP-SX1
- 再生していたディスクのタイトル名
- 再生していたディスクの種類：BD-ROM、DVDビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rなど
- つないでいるテレビのメーカーと型名
- 購入年月日
- お買上げ店

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルブルーレイディスク/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

本機を廃棄するときのご注意

Li-ion

本機に内蔵されている充電式電池は、リサイクルできます。
廃棄する場合は、一般ごみとして廃棄せず、地方自治体の条例などに従って処分してください。
リサイクルにご協力いただける場合は、充電式電池の取りはずしをお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ら行

アルファベット

ブルーレイディスク/DVD プレーヤーホームページ

本機に関するさまざまな情報を確認できます。
操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/portable-player/

本体ソフトウェアのアップデートについて

本体ソフトウェアは、機能向上のため、アップデートされる可能性があります。
アップデートの情報については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/portable-player/

「Q&A」ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.jp/support/faq.html

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「103」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） **0120-333-389**

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

I-426405302.

4-264-053-**02**(1)